

# 読む ミソ

県庁跡地に「未来型図書館」の建設が予定されている。たしかに本多町にある県立図書館の建物は古くなり狭いため、県の図書館としては見直す時期であると思う。図書館をよく利用する私としても、待ち望むものである。しかしながら、これまでの行政主導の箱物に見られがちな、ハードにばかり視点が置かれるのではなく、利用者サイドに立った幅広く柔軟な運営が求められる。

先日、図書館運営を考えさせられる事があった。レポート作成のために文献をホームページ検索で調べ

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

## 求められる図書館運営とは

て、所蔵している県外の図書館に問い合わせをした。大学からの問い合わせや、提携している図書館からの問い合わせには対応するが、一般には対応していません。そこで、別の方法で文献を集められないか調べてみた。

一、県外大学の図書館の所蔵文献を、県内の提携図書館を通じて、取り寄せかコピーを送ってもらう。

二、県内大学の図書館でも、ホームページ検索で見つけられなかった対象文献があるか調べる。

三、県内の公立図書館で、対象文献があるか調べる。

結果、一は取り寄せには時間と費用(送料・コピー代)がかかる。直接見てい

るわけではないので、送られてきて初めて内容がわかるので、無駄がともなう。

二に関して、まずは国立大学ということで、金沢大学に聞いてみた。学外者にも利用を許可していた。しかし、駐車場が離れているのと、いったん図書館で、駐車場使用許可書"をもらって、車に置きに戻らないと

し出しも可能なところまであった。

三に関しては、県立図書館からの取り寄せの形式で、無料エリアと有料エリアがあった。有料エリアは取り寄せ期間は思ったよりも早かったが、取り寄せの送料支払いに"切手"を指定された。現金では駄目なのだろうか。

いけない。今の天候を考えると、やってられない"と思った。また、学外への問い合わせには対応してくれない。

私立大学も数か所聞いてみた。県内の提携図書館からの問い合わせには応えるが、一般人の利用はまったく駄目というところから、学外者でも図書館利用も貸

というところで、今回の文献集めは二、三の併用で対応することにした。

これだけIT化が進んでいても、広域な部分で図書館同士の横の連携や運営部分には、まだまだ、利用者サイドに立った観点が追いついていない。図書館の閉館時間にしても、午後七時から八時になっている。勤務

帰りの人が利用するには、せめて九時までを希望したい。

「文化のまち」にふさわしい施設と運営を両輪とし、IT世代に担った図書館作りをしていっていただきたい。

図書館の運営にはいろいろな意見したが、中で働いていらっしゃる方の対応には心温まるものがあった。本当に本を愛し、知識と誇りを持って対応しているのが伝わってきた。

「できない」理由を考えるより、「どうやったらできるか」を考えていってほしい。

昨日、郊外ショッピングセンターが十一時まで営業している時代である。人の生活時間が多岐にわたっている。もちろん人的な負担や経費増などクリアしないといけない問題はたくさんあるが、「できない」理由を考えるより、「どうやったらできるか」を考えていってほしい。